

知事疑惑解明へ百条委

県民に信頼される県政に



百条委員会設置を求める請願を提出した市民グループ「風通しの良い兵庫」のメンバーと党県議員団

兵

兵庫県議会では6月議会最終日の13日、前西播磨県民局長による「齋藤元彦知事の違法行為等について」の告発文書をめぐる問題で、調査をおこなう百条委員会設置の動議が提出され、賛成多数で設置が決まりました。

日本共産党県議員団は、当初より事実の究明と問題解決のため、第三者機関の設置を要望し、百条委員会の設置も求めていました。

今年3月12日、前西播磨県民局長が齋藤知事の贈答品の受け取りやパワハラ、知事選挙をめぐる違法行為などを文書で告発したことに対し、齋藤知事は3月27日、「事実無根」「嘘八百」とし、県人事課の内部調査により5月7日、前西播磨県民局長を停職3カ月の懲戒処分にしました。



第1回の百条委員会で発言する庄本県議(6月14日)

県の内部調査の中では、告発文書に記載のあるコーヒーメーカーを県産業労働部長が受け取っていた事実が明らかになりました。また、告発文で知事の政治資金にまつわる疑惑が指摘された県信用保証協会の顧問弁護士が加わっており、「客観性が担保されていない」と県民の不審がひろがっていました。

共産党含む各党派が要請した「第三者機関」について、齋藤知事は、設置の方向に転換しましたが、県民の不審は根強く、「議会として、調査できる百条委員会の設置を」との請願も寄せられました。

15人で構成された百条委員会には、庄本議員も選任され、6月14日に第一回目の委員会が開かれました。庄本議員は、「委員会では、元職員が告発した内容などについて一つ一つ真実を明らかにし、不当性があれば是正させ、県民に信頼される県政となるようにがんばりたい」と述べています。

6月議会 主な請願の内容

○…採択を主張 X…不採択を主張

共産 自民 公明 維新 県民(立憲・国民)

百条委員会の設置を求める件

○ X X X ○

※「核兵器禁止条約への署名、批准を求める意見書提出の件」「訪問介護費における基本報酬の引下げ撤回及び基本報酬の引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出の件」「高等教育の学費無償化に向けた教育予算拡充を求める意見書提出の件」「子どもの医療費を所得制限なしに18歳まで無料にすることを求める件」については継続審議となっています。

危険な大阪・関西万博に子どもたちを送るな

兵庫県は、県内の大企業、川崎重工業、神戸製鋼所、シスメックスの3社とともに学校行事を通じて大阪・関西万博に県内の私学を含め全小中高校・特別支援学校の児童生徒最大56万人を動員する計画を発表。

これに対し、4月15日、日本共産党兵庫県議員団は、齋藤元彦兵庫県知事に対し、「子どもたちを危険な大阪・関西万博に送るべきではない」とこの計画の撤回、中止を求める申し入れを行いました。

庄本えつこ議員は、「ごみ処理場である夢洲での開催準備が進められているが、発生していたメタンガスに引火して、爆発事故が起きるなど、極めて危険な場所である。ガスが発生しているところに人が利用する施設をつくること事態が誤りだ。そんな危険な場所に、子どもたちを動員するべきではない」と迫りました。

久保田けんじ議員は、「万博に行くか希望を学校側に聞くと、いうことだが、政府、マスコミ



4月15日、申し入れ文を手渡す党県議員団

あげてこれだけの万博推進キャンペーンをしているなか、学校側には、大きな参加の圧力がかけられている」と指摘。県庁担当者は「学校側の受け取り方だ」と回答。

庄本議員は、「万博のテーマは、『いのち輝く未来社会のデザイン』とのことだが、これでは、命をないがしろにする万博といわざるを得ない。子どもたちの万博動員計画は、ただちに中止し、万博そのものの開催中止を、国・大阪府に求めるべきだ」と要請しました。



庄本えつこ
尼崎市
文教常任委員会

久保田けんじ
西宮市
産業労働常任委員会



兵庫県議員団
ホームページ



兵庫県議員団X
(旧Twitter)